



2/2 福も鬼も集まる節分イベント 福豆鬼節分会

令和7年福豆鬼節分会(市教育委員会、岩崎地区自治振興協議会主催)は、鬼の館で開催されました。全国から逃れてきた鬼たちが集まり、鬼が主役の特徴ある恒例行事で、赤鬼も一緒に福豆まきに参加。約5,500人の来場者でにぎわいました。岩崎下契約会田植え踊りに出演した千田ゆうかさん(いわさき小6年)は「昔から地域にある踊りなので親しみがある。これからも続けてほしい」と話しました。



2/11 多彩な恐竜がゴールを目指して力走 第1回ティラノサウルスレース

第1回ティラノサウルスレース(ランフェスきたかみ実行委員会主催)は、北部交流館で開催されました。参加した68人は、慣れない恐竜スーツに苦戦しながらも、迫力の走りを見せていました。幼獣の部1位の上野誠徒君(東桜小2年)は「1位になれてうれしい」と喜び、成獣の部(メス)1位の畠山梨佳さん(26歳)は「恐竜がたくさんいてかわいかったし、楽しく参加できた」と笑顔を見せていました。

1/29 3年ぶり3度目の全国大会出場へ いわさきレッズが表敬訪問

第18回春季全日本小学生女子ソフトボール大会(3月27~30日、岐阜県揖斐川町)に出場するいわさきレッズの選手らは、八重樫市長と船田教育長を表敬訪問しました。昨年11月に行われた県大会で3試合全てをコールド勝ちで制し、全国大会への切符を獲得。主将の武田陽向さん(いわさき小5年)は「先輩たちが成し遂げられなかった日本一を目指したい」と力強く語りました。



2/3 遊鬼まつりで優しい鬼が園児と触れ合う 第25回遊鬼まつり

北上商工会議所青年部(関根雄太会長)の部員約50人は、北上の優しい鬼に変装して市内13カ所の保育園や幼稚園を訪問しました。鬼たちは、各園で「鬼すむ町・北上」をPRしたほか、おに丸くんの塗り絵コンテストで入賞した園児に表彰状を手渡しました。塗り絵コンテストでは小野涼真君(黒沢尻保育園・6歳)が「あおに賞」を受賞。「きれいに塗れて良かった。鬼は全然怖くなかった」と余裕の表情でした。



1/15 交通安全の願いを込めて 第50回交通安全「たこ揚げ大会」

第50回交通安全「たこ揚げ大会」(北上地区交通安全協会東部支会立花分会主催)は、東桜小学校体育館で開催され、同校の児童59人が参加しました。子どもたちは交通安全に関するイラストなどを描いたたこを高く揚げようとして一生懸命に走っていました。たこ揚げの部で最優秀賞に選ばれた及川敬賢君(2年)は、「竜みたいによく飛んでくれたらと思って竜の文字を入れた。最優秀賞はうれしい」と満足気でした。



1/26 熱気あふれるステージで観客を魅了 冬のみちのく芸能まつり

鬼よ燃えろ! 冬のみちのく芸能まつりPart15(北上市民俗芸能協会主催)は、さくらホールfeat. ツガワで開催されました。県内の神楽のほか特別出演で島根県の石見神楽から高津神楽社中(益田市)が出演。大蛇と須佐之男命の戦いが披露されました。岩手の民謡を披露した専大北上高校郷土芸能部の佐々木心菜部長は「たくさん拍手をいただき、発表して良かった」と笑顔を見せていました。

1/12 大人としての決意を新たに ふれあい20歳のつどい

令和7年ふれあい20歳のつどい(北上市社会福祉協議会主催)は、ホテルシティプラザ北上で開催されました。北上ミュージックコーラス隊によるお祝いの合唱が披露されるなど、新たな門出を祝いました。ワークステーションきたかみを利用する菅原涼介さんは「多くの人の支えで強くたくましく成長することができた。家族や周囲の人に感謝して、社会に貢献できる大人になりたい」とあいさつしました。



1/21 人権を守り、長年地域に寄り添う 法務大臣感謝状伝達式

人権擁護委員を務め、昨年末で退任した高橋成人さん(和賀町長沼・76歳)と平野昌幸さん(柳原町・69歳)に、法務大臣感謝状が伝達されました。高橋さんは「活動を通して多くの人と出会い、そのおかげでここまで続けられた」と感謝の気持ちを述べ、平野さんは「人権擁護活動にはさまざまな事業があり、大変勉強になった。地道に取り組むことが大切だ」と振り返りました。

